

第45回
全日本ジュニア
バドミントン選手権大会
ジュニア新人の部
香川県予選会

期日 令和8年 8月 6日(木)

会場 坂出市立体育館

主催 香川県バドミントン協会

主管 香川県バドミントン協会中体連専門部

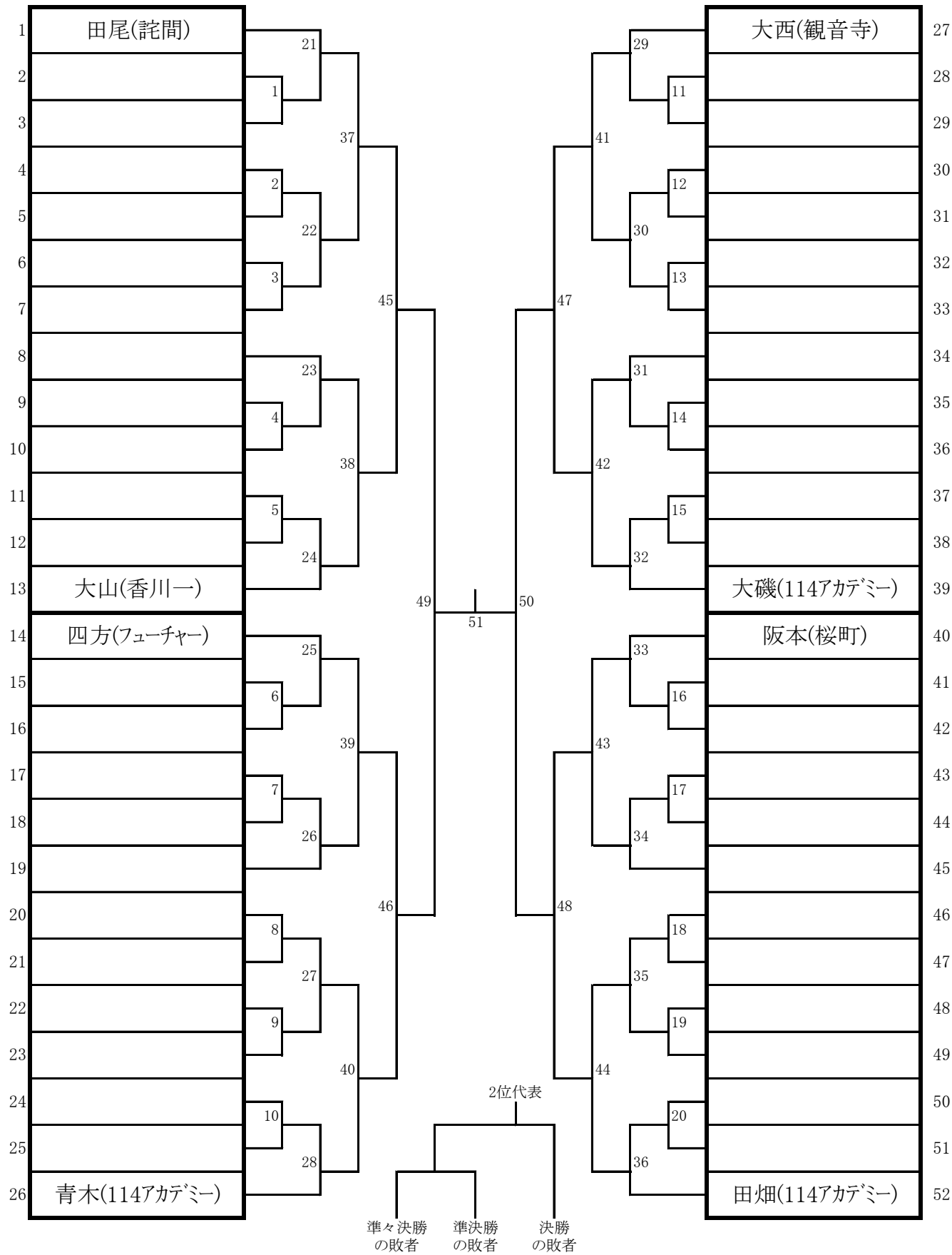
第 45 回 全日本ジュニアバドミントン選手権大会 ジュニア新人の部 香川県予選会開催要項

- 1 主 催 香川県バドミントン協会
- 2 主 管 香川県バドミントン協会中体連専門部
- 3 日 時 令和 8 年 8 月 6 日 (木) 開館 8 : 00 競技開始 8 : 30 ~
- 4 会 場 坂出市立体育館 メイン サブ
- 5 参加資格 ① 令和 8 年度香川県バドミントン協会登録を完了しているもの
② 予選会については、県内在籍の中学 1・2 年生、小学 5・6 年生（小学生は小学生連盟の参加基準を満たしたものとする）で、本戦への出場の意志があるもの。
- 6 競技種目 男女シングルス（ジュニア新人の部 香川県予選会）
- 7 参 加 数
 - ・男女それぞれ予選会 2 名まで（**今年度より練習会は行わない。**）
 - ・県総体個人戦でシングルスベスト 4、ダブルス 2 位以内に入賞した選手は県協会中体連専門部の推薦選手として、チームの出場枠に関係なく本大会に出場することができる。
 - ・小学生は、小学生連盟推薦を受けた男女それぞれ 2 名まで（ただし、ナショナルチームに所属する選手はその枠に含まずに出場できる）
- 8 競技規則
 - ・令和 8 年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、および大会運営規程に則って行う。
 - ・ラリーポイント制 15 ポイント 3 ゲームマッチ。（最大 21 点まで）
 - ・使用シャトルは、（公財）日本バドミントン協会第 2 種検定以上合格の水鳥球 3 番を各自持ち寄りで使用する。
- 9 競技方法 トーナメント方式により行う。第 2 代表決定戦を行い、上位 2 名は、令和 8 年 9 月 19 日から群馬県で行われる本戦（ジュニア新人の部）への出場資格を得るものとする。
- 10 参 加 料 1 人 800 円 （空調費を含む） ※当日受付で支払い
- 11 申し込み【中学生】
各チームの代表者は、**7 月 20 日(月)までに観音寺中部中 高田(ct2606@kanonji-ed.net)**まで別紙申込用紙をデータで提出する。
※郡市の取りまとめはせず、直接高田まで申し込むこと
【小学生】
申込用紙を 奥田 貴士 がとりまとめる。
※小学生連盟の代表者は 20 日(月)までに、取りまとめをして高田まで申込をすること。
- 12 組 合 せ
 - ・シードは主催者に一任する。（抗議等は一切受け付けません。）
 - ・8 シード以外の組み合わせは当日に抽選を行う。なお、受付時にチームごとに予備抽選を行い、抽選の順を決定する。その後、選手本人が抽選を行い、トーナメントを決定する。
- 13 そ の 他
 - ・大会参加中の事故、疾病については、主催者はその責任を負わない。
 - ・予選会のため表彰はしない。
 - ・競技中の服装については、学校の体操服または規定のユニフォームとする。
チーム名、氏名の入ったゼッケンをつけること。（縦 20 cm×横 30 cm以内のもの）
 - ・飲食場所や上靴・下靴の区別などマナーを守って体育館を使用し、ゴミは必ず持ち帰る。
 - ・駐車場は体育館の駐車場を利用し、近隣の商業施設には駐車しない。

第 45 回全日本ジュニアバドミントン選手権大会 香川県予選会 ルール

- 1 主 催 香川県バドミントン協会
 - 2 主 管 香川県バドミントン協会中体連専門部
 - 3 日 時 令和 8 年 8 月 6 日（木） 開場 8：00（競技開始 8：30）
 - 4 競技・審判上の注意 ※準備チームは 7：45 に入場
- (1) 現行（公財）日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規程に基づき試合を行います。
 - (2) マッチ（試合）の進行状況にあわせて、試合番号、選手名、使用コートコールしますので、放送にはご注意ください。
 - (3) 各コートエンドラインの後ろにコーチング席を 2 席設置します。監督、コーチはマッチにふさわしい服装で臨んでください。
 - (4) 公式練習は開場後、開会式前に行います。
 - (5) マッチ中のけがや病気に対しては、主審が判断します。出血がある場合は止血を認めます。痙攣等はプレーを続けるか棄権するかを判断してください。主審は必要に応じて競技役員を呼んで判断します。
 - (6) シャトルの交換については主審が判断しますので、主審の指示に従ってください。
 - (7) マッチ中の水分補給、汗ふき、ラケットの交換、靴ひもの締め直し等、プレーを中断する場合は、必ず主審の許可を得てください。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみ認めます。
 - ドリンク容器は倒れてもこぼれない蓋付きボトルを使用し、各自で持参したバッグに入れて使用する。
 - 氷嚢は、保冷バッグ等に入れ、保管する。
 - (8) 競技規則第 16 条 7 項の規定により、以下のような行為は警告、フォルト又は失格となりますので注意してください。
 - プレーを故意に遅らせたり、中断したりすること。
 - 故意にシャトルに手を加えて破損したりすること。
 - 見苦しい服装でのプレー、審判員や観客に対する横柄な態度など下品で無礼な態度。
 - (9) 審判の判定に抗議や異議を唱えることは一切認めません。判定に対して疑問のある場合には、次のサービスが行われる前に質問をすることができます。このとき質問できるのは選手に限ります。ただし、明らかなミスジャッジ等がある場合には、教育的配慮として監督・コーチがレフェリーコールを行い、その後質問することを認めます。
 - (10) マッチ中、インプレーでないときのアドバイスはコーチング席から行います。インターバル時のみコートサイドへ近づくことができます。ただし、練習会においては、得点制限を設け、インターバルを制限する場合があります。監督・コーチが他のコートに移動する際は、インプレーでないときにしてください。
 - (11) 競技フロア内での携帯電話等の使用は一切認めません。携帯電話等は、電源を切るかマナーモードにしてください。アドバイスやコーチングへの使用も一切認めません。
 - (12) マッチ中の服装は、学校の体操服または（公財）日本バドミントン協会審査合格品とします。ユニフォームのときは、チーム名・氏名の入ったゼッケンを四隅どめにつけます。
 - (13) 主審は敗者審判とします。次の試合のスコアシートを本部から受け取り、速やかに試合を始めてください。線審は原則各チームで用意してください。
 - (14) 各自で録画した映像等を無断で SNS 等にアップすることはご遠慮ください。

男子予選会



女子予選会

